

臨床検体使用に関するお知らせ

【研究課題名】造血器疾患における赤血球輸血のヘモグロビン閾値に関する研究』

【研究の背景および目的】

日本では厚生労働省が推奨する血液製剤の使用指針に従って、ヘモグロビン値 7g/dl を目安に赤血球輸血を開始しています。しかし、この値の根拠は諸外国で行われた比較試験による値で、患者はICU患者、股関節手術患者、消化管出血患者など、慢性的な貧血患者を対象にした研究はありませんでした。

本研究は日本輸血・細胞治療学会における臨床研究支援委員会の活動として行われるもので、本研究の趣旨に賛同した国内研究者との多施設共同研究として行われます。当院（東邦大学医療センター大森病院）輸血部は、血液内科の協力のもとで協力施設として参加します。輸血療法の新たな方法の開発に役立ち、今後多くの患者さんの治療と健康に貢献できると考えます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医学部倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2015年2月と3月に東邦大学医療センター大森病院血液内科において、輸血を受けた18歳以上の症例で、約20例を対象とします。

既存の情報、診療録（カルテ）から抽出した情報のみを使用し、新たな採血・負担などは生じません。個人情報の漏洩を防ぐために、基幹施設（群馬大学）に送付する調査票には個人を特定はできる情報は含まれません。情報は数値化やファイルの暗号化など厳密な対策を取り、第三者が情報を閲覧できないようにします。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがあります
が、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院輸血部

職位・氏名 部長 塩野 則次

電話 03-3762-4151 内線 3521